

エピソード59 ねこが

昼休み、1年生の子が集まっていた。私に気づいた一人が、私の手を引いて、その場所に連れていってくれました。

「ねこがいる！」

というのです。いるはずは、ありません。

私が微笑ましく思ったのは、一人の子の声を数人が信じていたこと。しばらくは私も、この場でねこを探しました。

